

政策名	5安全な港	責任者	港営部 港湾管理事務所コンテナ 担当課長	連携担当課
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上	連絡先	0567-55-2953	(建設部) 施設工事担当、施設事務所 維持管理担当
個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する			
事務事業名	08荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備の維持管理			

1 PLAN(目的・概要)

目的	公共ガントリークレーン及び飛鳥ふ頭、金城ふ頭、稲永ふ頭等の受変電設備を良好な状態で使用できるようにします。	事業期間	昭和43年度～継続
概要	荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備を点検・検査し、不良箇所を修理を行います。	根拠法令・要綱等	クレーン等安全規則、クレーン構造規格、電気事業法
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・公共ガントリークレーンについて、法定定期自主検査(月例検査、年次検査)を実施し、発見した不良箇所については修理を行い、稼働率100%を目標に努めております。 ・飛鳥ふ頭、金城ふ頭、稲永ふ頭等の受変電設備については、各施設への安定した電力供給のため、年間を通して夜間・閉庁日を含め監視及び点検を行い、安定稼働率100%を目標に努めております。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
公共ガントリークレーン検査回数	単位	目標	144	143	110	108	106	108	クレーン等安全規則に定められた定期自主検査の回数を合計します。
	回	実績	144	143	110	108			
電力供給監視日数	単位	目標	365	365	365	365	365	365	年間を通して監視及び点検をしています。
	日	実績	365	365	365	365			
事業費	千円	345,082	510,349	430,451	699,546	636,914			
人員	正規職員	人	8.51	9.40	9.34	10.91	10.98		
	嘱託職員	人	4.28	1.89	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	90,589	89,739	80,156	92,528	96,262			
事業費・人件費の合計	千円	435,671	600,088	510,607	792,074	733,176			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
公共ガントリークレーン稼働率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	荷役中のクレーン停止回数を少なくし、稼働率を向上させます。 稼働率=(荷役回数-荷役中クレーン停止回数)÷荷役回数
	%	実績	98.0	99.0	99.0	99.0			
	達成率(%)	98.0	99.0	99.0	99.0				
電力安定供給率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	年間を通して電力の安定供給を目指します。 安定供給率=実際の供給日数(年間)÷供給必要日数(年間)
	%	実績	100.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0				
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	①・無							「港湾法及び特定外貿埠頭の管理運営に関する法律」による、港湾民営会社制度に関する議論と併行して、整理すべき課題と考えます。
	目的・水準の妥当性	有・②							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・②							
	成果の達成度	①・無							
効率性	内容の妥当性	有・②							
	実施主体の妥当性	①・無							
	受益者負担の適正性	①・無							
経済性		①・無							

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			

施設の老朽化による維持管理費用の増大が予想されるため、施設の状態及び重要度を勘案した維持管理計画を維持管理担当と協議の上作成し、維持管理費用の急激な増大の抑制に引き続き取り組みます。